

心に残る文化財子ども塾 一出雲市立多伎中学校

1. 活動の概要

令和7年10月8日(水)1~4校時、出雲市立多伎中学校で、『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。「多伎町内(多伎中校区)の遺跡、文化財、歴史文化を学ぶ」という主題で、1年生27名が参加しました。

はじめに多目的室で写真スライドを投影しながら、多伎町内にある遺跡についてお話ししました。「学校の近くで、縄文時代の石器が見つっています。」「実際の石器を観察してみましょう。何に使われたものでしょうか?」といった流れで、生徒皆さんがそれぞれ考えながら学習に参加しました。

多伎町内には50箇所を超える遺跡が見ついていることや、奈良時代の『出雲国風土記』には多伎に駅などの施設があると書かれていること、学校の近くに古墳や山城があること、江戸時代には「久村焼」という焼き物や、田儀櫻井家によるたたら製鉄があったことなど、教科書に載っていない身近の歴史の話に皆さんびっくりに興味津々で聞いてくれました。

3校時からは校外に出かけて、砂原遺跡や古墳時代の横穴墓を見学しました。この日は天候が危ぶまれましたが、さいわい雨もひどくならず、決行です。横穴墓は急斜面の上方に口を開けているのですが、「斜面を上って中をのぞいて見たい人!？」と募ると、たくさんの生徒が「ハイ!!」と手を挙げてくれました。

2. 活動の様子

1)多伎町内の遺跡、文化財(写真スライド・出土品を見ながら)



2)学校近くの遺跡見学



「ここから旧石器が見つかりました」



「横穴墓の入口をのぞいてみましょう」

3. 子ども塾を終えて

1)生徒の皆さんから…

- 多伎町には53箇所も遺跡があることにびっくりしました。遺跡にも実際に行ってみて、歴史ってすごいなと思いました。
- 社会の授業で習った石包丁が見れてうれしかったです。
- 多伎に砂原遺跡があって石器が見つかったということが心に残りました。教科書にのって欲しいなと思いました。

- 横穴墓の中がすごく広くて驚きました。
- 自分で石器や遺跡を見つけたり調べたりしてみたいです。

2)実施校の先生から…

- 身近な史跡について専門的な内容をわかりやすく教えていただき、生徒もすごく興味深そうに聞いていました。
- 実際に足を運んで「体験」することで、より一層理解が深まったと思います。

3)歴博担当者から

座学が長くて退屈ではないかと懸念していましたが、生徒の皆さんは熱心に、食い入るように話を聞き、積極的に発言してくれました。教科書には載っていない、地域の歴史の痕跡が身近に残されていることについて、家庭の方とも話題にしてもらえると嬉しいです。